



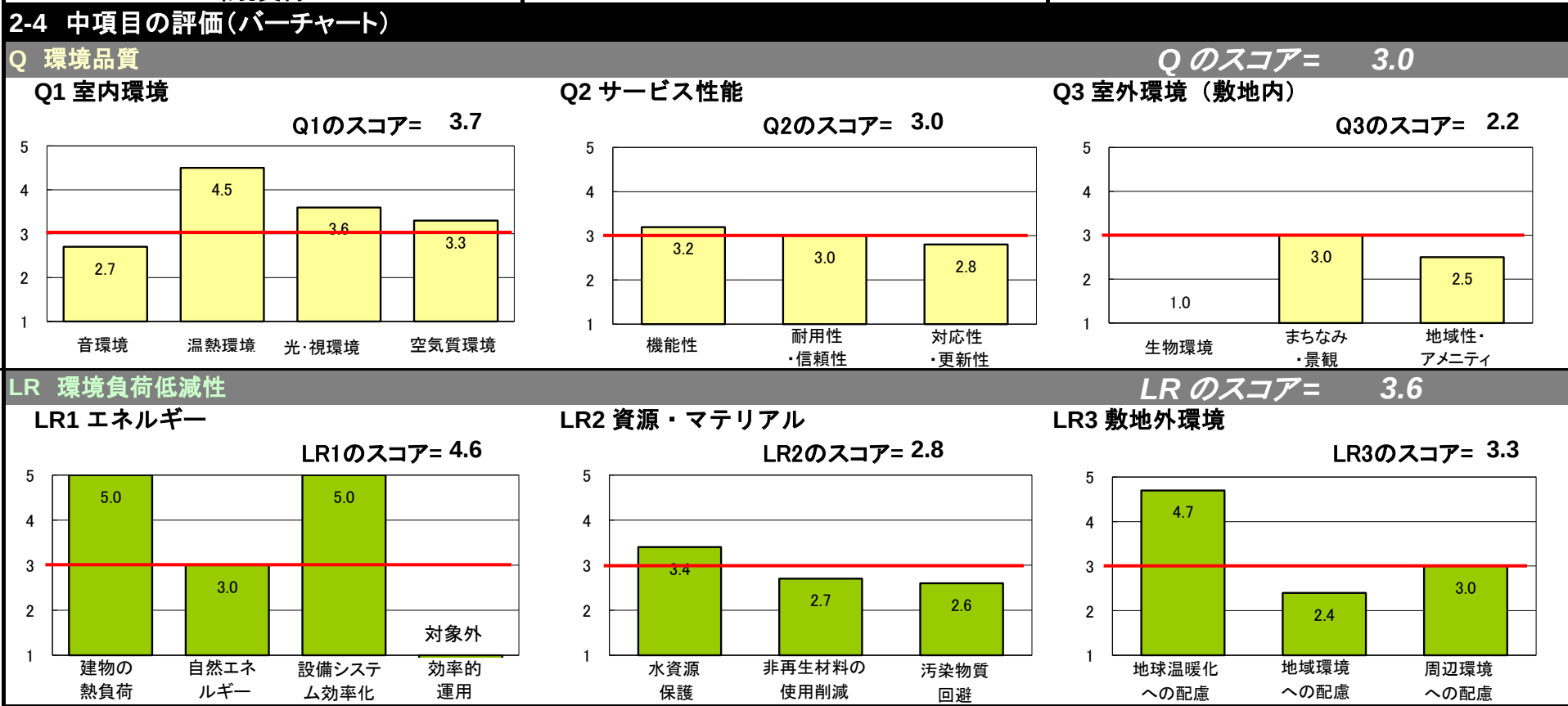
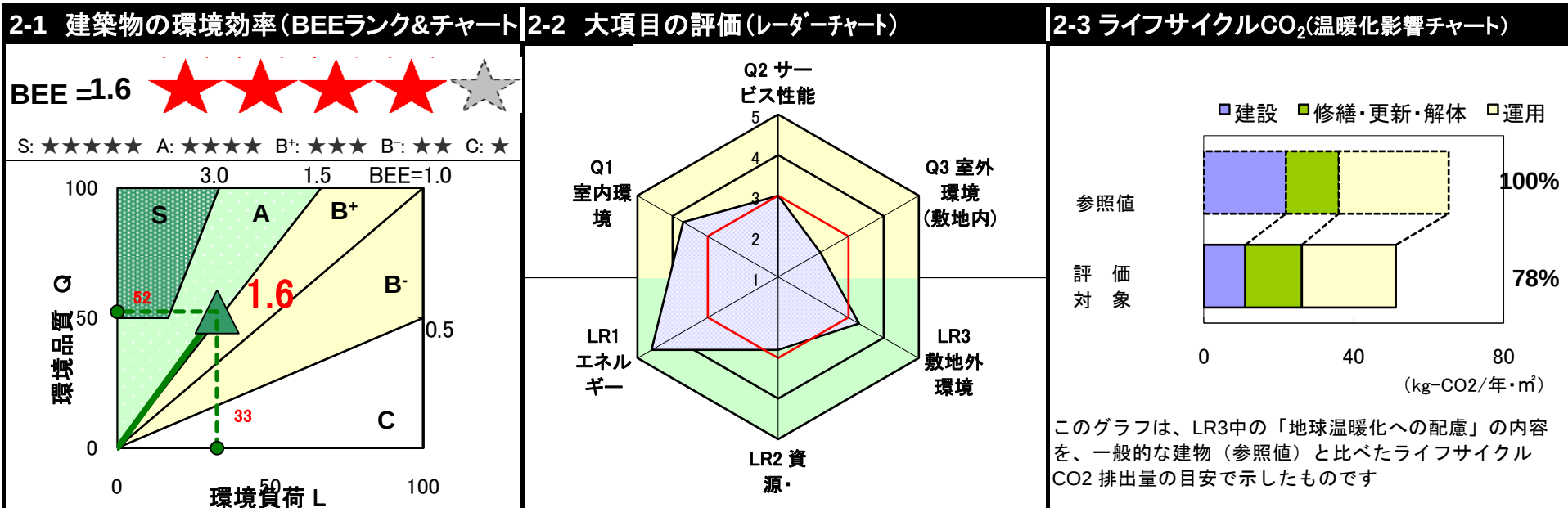
(2010年ver.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

評価結果

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称)サーパス皆実町ネオスタイル西館 新築工事	階数	地上15F	
建設地	広島県広島市南区皆実町一丁目184-28	構造	RC造	
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	196 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2012年5月 予定	評価の実施日	2010年10月25日	
敷地面積	1,819 m ²	作成者	阿部 匡展	
建築面積	493 m ²	確認日		
延床面積	5,090 m ²	確認者		



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.6		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 4.1	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 1.6	「長寿命化対策」の推進 スコア= 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 設計住宅性能評価における省エネルギー対策等級の等級4に適合。(複層ガラス等の採用) / 全ての住戸で2面以上の採光・通風を確保した。 / 燃焼系瞬間式給湯器(潜熱回収型)を採用した。 / 節水型便器、節湯器具を採用した。 また、構造躯体と仕上げの分別を容易にした。 / 排出率参考値100%に対し78%に抑えた。	設計の計画上特段に配慮した事項 / 駐車場・駐輪場を整備することにより、敷地周辺の交通負荷軽減を考慮した。	設計の計画上特段に配慮した事項 設計住宅性能評価における劣化対策等級の等級2に適合。また外壁には耐用年数の高いタイル貼を採用した。 / 構造躯体に損傷を与えない事を前提としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される